

## 春の全国交通安全運動

4月6日～15日

春の全国交通安全運動の10日間、様々な交通安全啓発活動を実施しました。

### 自転車の青切符制度を周知するキャンペーンの実施

4月10日（金）午後、天文館G3アーケードにおいて、本年4月1日から導入された自転車の青切符制度についての周知と各種交通事故防止を図るため、各関係機関と協力し、街頭キャンペーンを実施しました。

金曜日午後の繁華街とあって人通りは多く、中には自転車の青切符制度に関するリーフレットの説明に聞き入る方もおり、新たな制度への関心の高さがうかがわれました。



チラシやグッズの配布状況

紫原小学校での配布状況



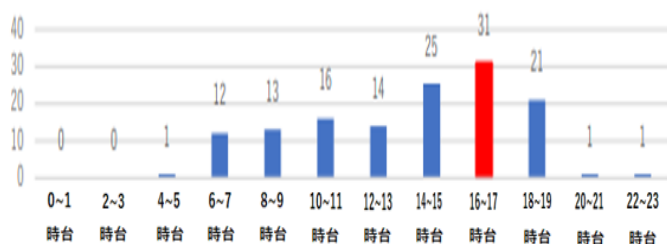
### 小学生に夜光反射材を配布

4月13日（月）に紫原小学校において、交通安全母の会や交通安全協会等とともに児童の登校時間帯に合わせ、道路を歩くときの交通安全を呼びかけ、道路標識がデザインされたクリーンークロスやディズニーキャラクターの夜光反射材等を配布しました。

令和7年中の鹿児島県内における子ども（中学生以下）の交通事故の発生件数は375件で前年より13件減少し、死者はなかったものの、死傷者数が135人と前年よりも23人増加しております。

発生時間帯別では、16～17時台の事故が最も多く、夕方の下校時や下校後の時間帯の事故が目立ちます。

時間帯別死傷者数（R7）

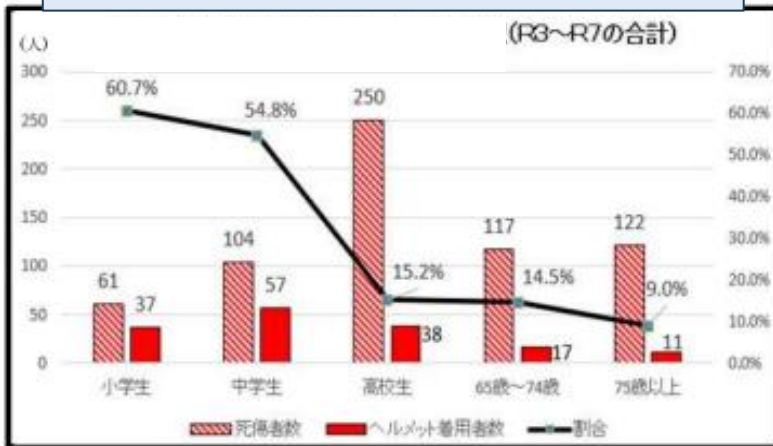


※鹿児島県警察本部（交通企画課）調べ

# 自転車のヘルメットを着用しましょう!!

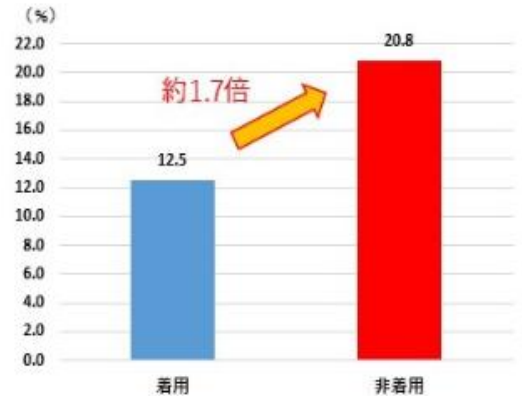


県内の自転車乗車中死傷者のヘルメット着用状況



【出典】令和8年度交通事故ゼロを目指す交通安全県民運動実施要綱

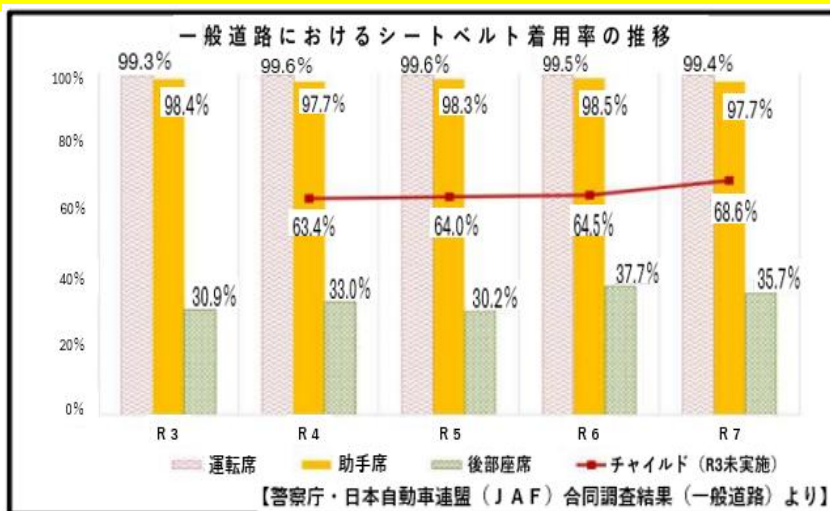
ヘルメット着用有無別人身損傷主部位「頭部」(死者・重傷者)の構成率比率(R3~R7合計)



※警察庁ホームページ「交通安全のための情報」から抜粋

県内の自転車乗車中の死傷者のヘルメット着用状況を学齢別で見ると、小中学生は半数以上が着用していますが、通学などで利用することの多い**高校生になると15%程度**になっています。また、全国的に自転車乗車中における**交通事故死者の半数以上は頭部に致命傷**を負っており、**ヘルメット非着用者が死亡・重傷を負う割合は、着用している方の1.7倍**に上ります。**ヘルメットは命を守る大事なものです。必ず着用しましょう。**

# 全席シートベルトを着用しましょう!!



【出典】令和8年度交通事故ゼロを目指す交通安全県民運動実施要綱

## 後部座席ベルト 非着用時の危険性

- 車内で全身を強打する危険性
- 車外に放り出される危険性
- 前席の人が被害を受ける危険性

県内の一般道におけるシートベルトの着用状況を座席別で見ると、運転者や助手席の着用率がほぼ100%であるのに対し**後部座席は35%程度**であり、全国平均と比べても10%以上低く、**全国ワースト6位**です。

一般道でも**後部座席のシートベルトは着用義務**があり、着用しないと事故に遭った際、車外に放り出される危険性、車内で全身を強打する危険性があり、致死率も上昇します。**後部座席を含め、全席シートベルトの着用を徹底しましょう。**

## 交通安全教室受付中

地域でのグランドゴルフ大会やその他の行事に合わせた交通安全教室等をお考えの際は、鹿児島市安心安全課までご相談ください。  
安心安全課 電話:099-216-1209(直通)